

【日曜診療のお知らせ】

8月19日(日)

日曜当番医：9月30日(日)

ひらた医院では、皆様からのご要望で、
毎月最後の日曜日、
内視鏡検査をご予約の方を中心に診療しております。
※時折、最終日曜日ではない場合も
ございますのでご注意ください。

通常診察は午前中のみ行います。
詳細は受付までお問い合わせください。

【休診のお知らせ】

8月13日(月)

8月14日(火)

8月15日(水)

8月24日(金)午後

8月25日(土)



【臨時休診のお知らせ】

10月15日(月)

10月16日(火)

10月17日(水)

10月18日(木)

10月19日(金)

10月20日(土)



インターネットでも
予約できます。



<https://e.inet489.jp/hrt7616>

☆ヘリカルCTの予定☆

H30年8/29(水)

9/27(木)

10/27(土)

11/24(土)

12/18(火)

いずれも10時からです
(前日まで要予約)

ひらた医院は
医療を通じて
社会に貢献
いたします。

毎週火曜日午後に生花を
診察室前に活けています。
皆様の目の保養になりますように。

ひらた医院

胃腸科・肛門科・内科・外科
〒870-1143 大分市田尻478

代表 ☎ 097-548-7616
FAX 097-548-7626

☆ 診察順番予約専用 ☆

☎050-5533-1937

※4/26～変更になりましたので
ご注意ください

☆ 内視鏡センター直通 ☆

☎097-576-7618

内視鏡の予約はこちらまで

● 診察時間 ●

午前9時～12時30分
午後14時～18時

● 休診 ●

日・祝・木曜午後

院長 平田 孝浩
医学博士

外科専門医／消化器外科
認定医

平成14年7月1日 開院

日	月	火	水	木	金	土
～平成30年8月～						
7/29 休診	30	31	8/1	2 午前	3	4
5 休診	6	7	8	9 午前	10	11 休診
12 休診	13 休診	14 休診	15 休診	16 午前	17	18
19 診療	20	21	22	23 午前	24 PM 休診	25 休診
26 休診	27	28	29 CT	30 午前	31	9/1
2 休診	3	4	5	6 午前	7	8

- 次回のヘリカルCTは8月29日(水)10時～です。
- 胃・大腸の内視鏡検査は毎日行っております。
- 検査のご予約やご相談、承っております。
- 会社の健康診断、入社や入学に必要な健康診も承っております。

☆健康の輪を拡げる運動を しています☆

皆さんの周りの大切な方に
健康の大切さ、健康管理の重要性を
お話してください。

今年は大変な暑さと言われており、全国でも熱中症の症状が多く出ています。熱中症が原因の死亡者もでておりますので、正しい知識を身に付けていきましょう。

何かあったら
どうしようvol.85

熱中症について

「何かあったらどうしよう」はひらた医院が発行する、ご自身のカラダのことを考えるきっかけとしていただくための新聞です。楽しみに。

☀️症状チェックリスト☀️

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> めまいや立ちくらみ、顔がほてる | <input type="checkbox"/> 手足の筋肉がつる |
| <input type="checkbox"/> 一時的に意識が遠のく、腹痛がある | <input type="checkbox"/> 筋肉がピクピクと痙攣する、硬くなる |
| <input type="checkbox"/> 体がぐったりして力が入らない | <input type="checkbox"/> 吐き気や嘔吐、頭痛がする |
| <input type="checkbox"/> 汗が異常にでる | <input type="checkbox"/> 汗をまったくかいていない |
| <input type="checkbox"/> 体温が高く皮膚を触るととても熱い | <input type="checkbox"/> 皮膚が赤く乾いている |
| <input type="checkbox"/> 声をかけても反応しない | <input type="checkbox"/> おかしい返答をする |
| <input type="checkbox"/> まっすぐ歩けない | <input type="checkbox"/> 水分補給が出来ない |



熱中症の応急処置で大切なポイント

～すぐに医療機関へ相談することや救急車を呼ぶことが大切です～

①涼しい場所へ移動しましょう

クーラーのきいた場所や風通りのよい日陰に移動して安静にする

②衣服を緩めて体の熱を放出しましょう

氷枕や保冷剤で両側の首筋や脇、足の付け根などを冷やします
皮膚に水をかけてうちわなどで仰ぐことも有効です

③塩分や水分を補給しましょう

嘔吐の症状が出ていたり意識がない場合は、誤って水分が気道に入る危険性があるので、むりやり水分を飲ませることはやめましょう

臓器の病気に限らず、当医院では目や耳など全身の症状につきましても総合的に診察することが可能です。小さな症状でも気になる方はお気軽にご相談ください。

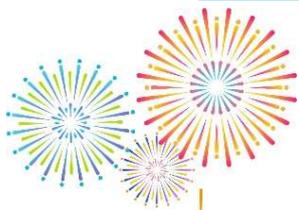


「治るガンで死なせない」
を使命とし、日々奮闘中！

ひらた医院 院長 平田孝浩

ひらた医院では
「健康の輪」を
広げる取り組みを
行っています。
大切な方へ「健康の輪」を
広げていきましょう。





「逆流性食道炎」について

2018年8月1日号
パパラッチ発行

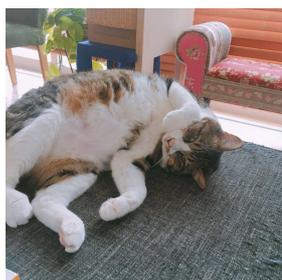


通常、食道と胃の間に下部食道括約筋といった筋肉があるため口から入った食べ物は食道から胃に向かい、一方通行で降りていきます。しかし、加齢・食事の内容・肥満・姿勢などによって、食道を逆流から守る仕組みが弱まるか、胃酸が増えすぎることによって胃液が逆流し、胃酸の刺激から身を守る仕組みを持っていない食道の粘膜に胃酸が触れ、炎症を起こしてしまう状態を逆流性食道炎といいます。

最近では若い人にも多くみられますが、その原因として「便秘」によって腹圧が高まるのが原因の1つだといわれています。お腹が張っている時に、胃は腸からの圧迫を受け、食道への逆流が起こりやすくなってしまいます。また、脂肪分が多い食事をすると十二指腸からコレシストキニンというホルモンが分泌され下部食道括約筋が緩んだり、胃酸が増えたりすることが多いので逆流性食道炎が起こりやすくなるともいわれています。この逆流性食道炎は放置すると潰瘍に進行するリスクや食道がんのリスクが高まります。

すっぱいものが上がってくるような感じや食べ物がしみるような症状の胸やけや胃の痛み、胸の痛み、のどの違和感や咳、口の苦みなどの症状があります。日常の生活習慣では①食後逆流しにくいように、すぐ横にならないこと②腹圧の上がるような前かがみの姿勢を避けたりすること③アルコール、コーヒー(特にブラック)、炭酸飲料、たばこ、油もの、甘いもの、酸っぱい食品(梅干し、柑橘類など)、炭水化物(パンなど)の逆流を起こしやすい食品を摂りすぎないことが大切です。また気温が高く熱中症になりやすい状況が続いていますが、清涼飲料水の飲みすぎは糖分が多く胃を悪くする可能性があるため、注意が必要です。

ひらた医院では全身の症状につきましても総合的に診察することが可能です。小さな症状でも気になる方は、お気軽にご相談ください。



熱中症に 気を付けましょう!



🌻 今月のお花 🌻



ひらたの文字が
かくれんぼ



ひらた医院のホームページに
アクセスできるQRコードです。
アクセスしてください!!

最近熱中症についてのニュースが多いですね!
正しい知識を身につけていざという時に備えておく
ことが大事だと思うので私も気を付けたいです!

パパラッチ編集部